

U.S. Indicators

米国 耐久財受注コアは強い拡大モメンタムを維持（17年 2 月耐久財受注）

公表日：2017年3月24日（金）

～機械設備投資の拡大モメンタムも強まっている～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	出荷				耐久財受注				在庫			
	出荷		非国防資本財 除く航空機	受注	受注		非国防資本財 除く航空機	在庫	在庫		非国防資本財 除く航空機	
	除く輸送機器				除く輸送機器				除く輸送機器			
16/02	▲0.8	▲0.8	(▲2.6)	▲1.6	▲3.3	▲1.5	(▲1.4)	▲2.1	▲0.3	▲0.4	▲0.4	
16/03	▲0.7	+0.2	(▲2.8)	+0.0	+2.0	+0.3	(▲2.0)	+0.3	▲0.2	▲0.1	+0.1	
16/04	+0.4	+0.3	(▲1.8)	+0.6	+3.2	+0.3	(▲1.4)	▲0.9	▲0.4	▲0.4	▲0.6	
16/05	▲0.3	▲0.3	(▲1.8)	▲0.7	▲2.9	▲0.5	(▲0.8)	▲0.6	▲0.4	▲0.3	▲0.5	
16/06	+0.4	+0.0	(▲3.2)	▲0.4	▲4.3	▲0.3	(▲3.5)	+0.5	▲0.1	+0.2	+0.2	
16/07	+0.0	+0.3	(▲1.5)	▲0.7	+3.6	+1.1	(▲1.1)	+0.8	+0.4	+0.3	+0.2	
16/08	▲0.0	+0.3	(▲1.1)	+0.1	+0.2	+0.0	(▲0.7)	+1.2	+0.1	+0.2	+0.2	
16/09	+0.8	+0.1	(▲1.0)	+0.5	+0.3	+0.1	(▲0.2)	▲1.5	+0.0	+0.0	▲0.0	
16/10	▲0.2	+0.6	(+0.2)	▲0.3	+5.0	+1.1	(+0.3)	+0.5	▲0.1	▲0.1	▲0.3	
16/11	+0.4	+0.8	(+1.3)	+0.7	▲4.7	+1.1	(+2.6)	+1.7	+0.2	+0.2	+0.5	
16/12	+1.7	+1.3	(+2.8)	+1.7	▲0.9	+0.9	(+4.0)	+0.8	▲0.1	+0.1	+0.5	
17/01	▲0.1	+0.1	(+3.1)	▲0.3	+2.3	+0.2	(+2.7)	+0.1	+0.0	+0.0	+0.0	
17/02	+0.3	+0.6	(+4.5)	+1.0	+1.7	+0.4	(+4.6)	▲0.1	+0.0	+0.0	+0.0	

2月の耐久財受注は前月比+1.7%と高いの伸びを維持し、除く輸送機器が同+0.4%と8ヶ月連続の増加

2月の耐久財受注は、前月比+1.7%（前月同+2.3%）と市場予想の同+1.4%を上回った。加工金属が減少に転じたほか、一般機械、自動車・同部品の減少で輸送機器が鈍化した一方で、コンピューター関連が減少幅を縮小したうえ、一次金属、電子機器関連が拡大に転じた。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で耐久財受注は2月に▲1.6%（前月▲5.2%）とマイナス幅を縮小しており、悪化度合いを弱めている。

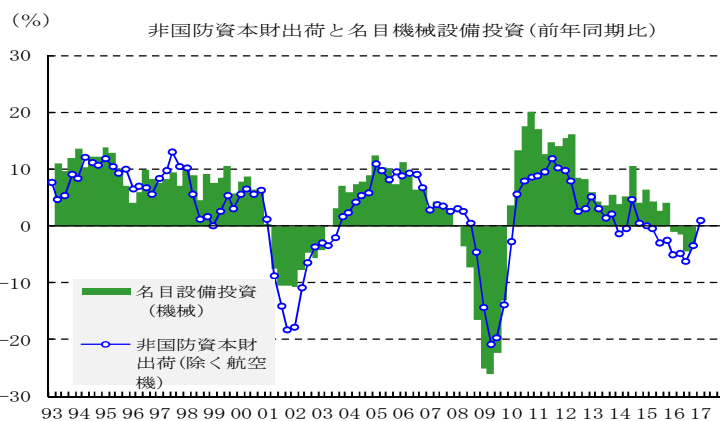
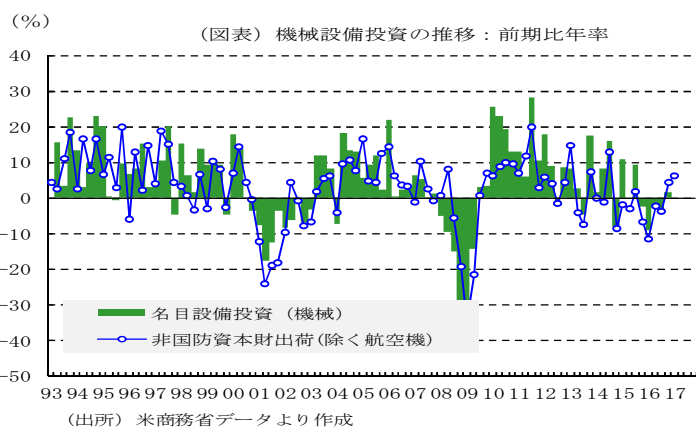
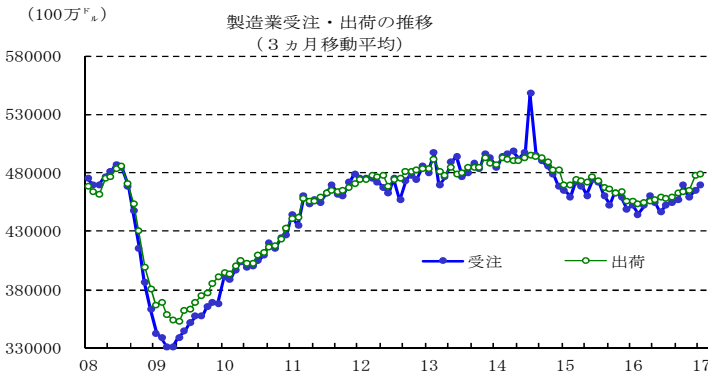
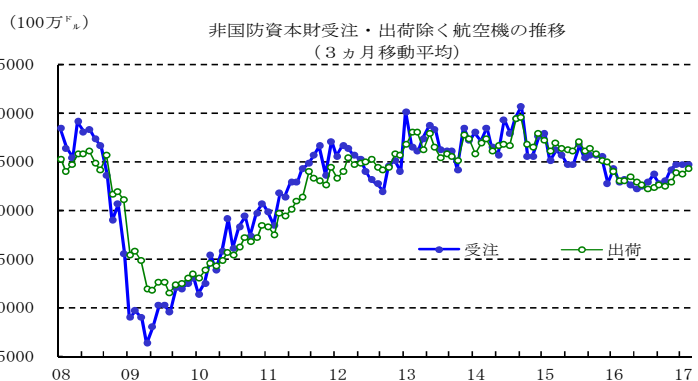
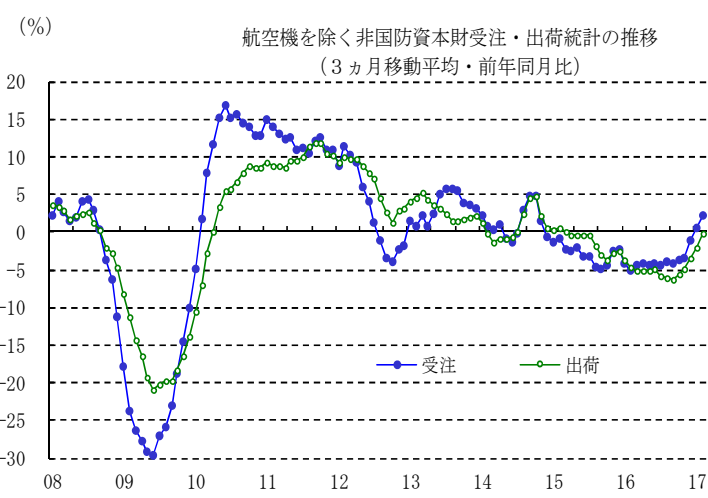
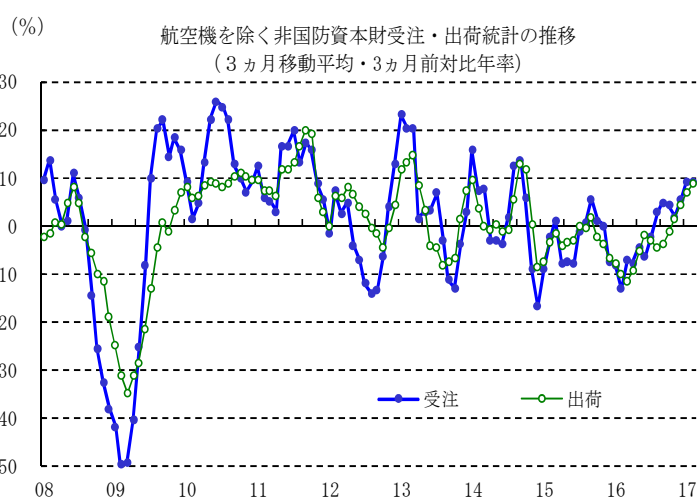
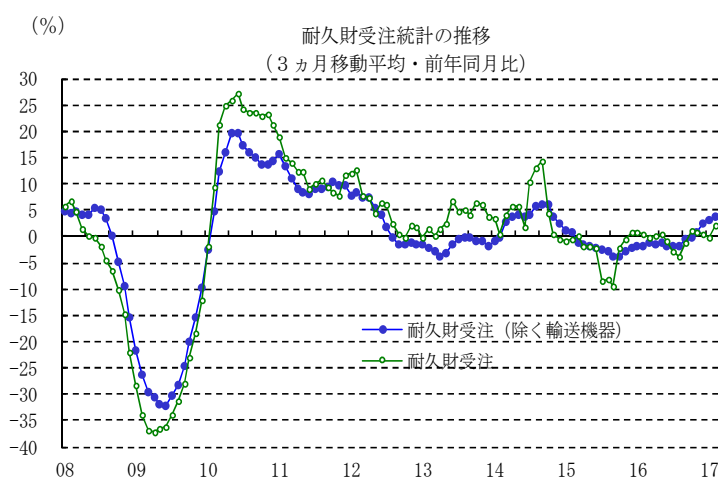
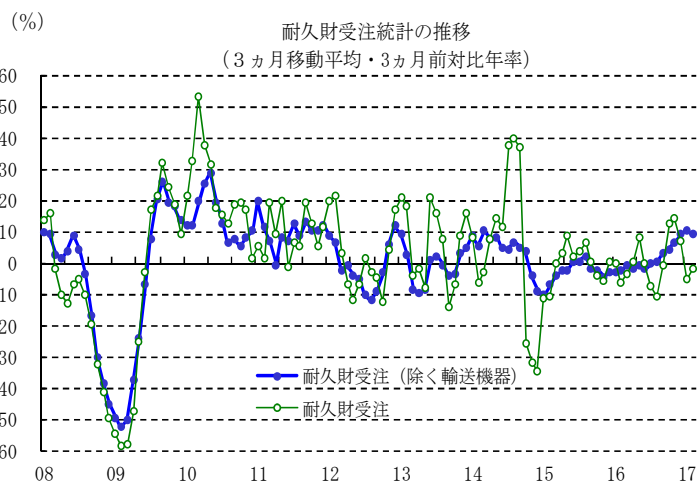
変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、前月比+0.4%（前月同+0.2%）と市場予想と+0.6%を下回ったものの、過去の数字が上方改定されていることを考慮すれば、予想通りの内容となった。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では輸送機器を除く耐久財受注は2月に+9.1%（前月+10.4%）と強いモメンタムを維持している。ドル高にもかかわらず、資源価格の上昇、世界的な景気の回復を受け、加工金属、一次金属、コンピューター関連、一般機械が拡大している。

2月の非国防資本財出荷が前月比+1.0%増加した一方、受注は同▲0.1%と減少した

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が2月に前月比+1.0%（前月同▲0.3%）と増加に転じ、市場予想中央値の前月比+0.2%を大幅に上回った。四半期でみると、1、2月平均は10-12月期比年率+6.1%と10-12月期の前期比年率+4.4%から加速している。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+8.8%（前月+6.8%）とプラス幅を拡大しており、1-3月期の機械設備投資の拡大ペース加速を示している。

機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、2月に前月比▲0.1%（前月同+0.1%）と市場予想の同+0.5%に反して減少した。ただし、過去の数字が上方修正されたほか、11、12月に高い伸びとなった反動と考えられる。四半期では1、2月平均は10-12月期比年率で+4.7%と10-12月期の前期比年率+5.5%から小幅鈍化にとどまっている。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+9.1%（前月+9.0%）とプラス幅を拡大しており、17年前半に非国防資本財出荷（除く航空機）が

拡大することを示している。原油価格の上昇、生産活動の活発化等を背景に、機械設備投資は今後拡大ペースを速めると見込まれる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。